

事例 23 佐賀県伊万里市

人 口	59,944 人
高齢者数	13,340 人
高齢化率	22.25%
担当部署	健康増進課

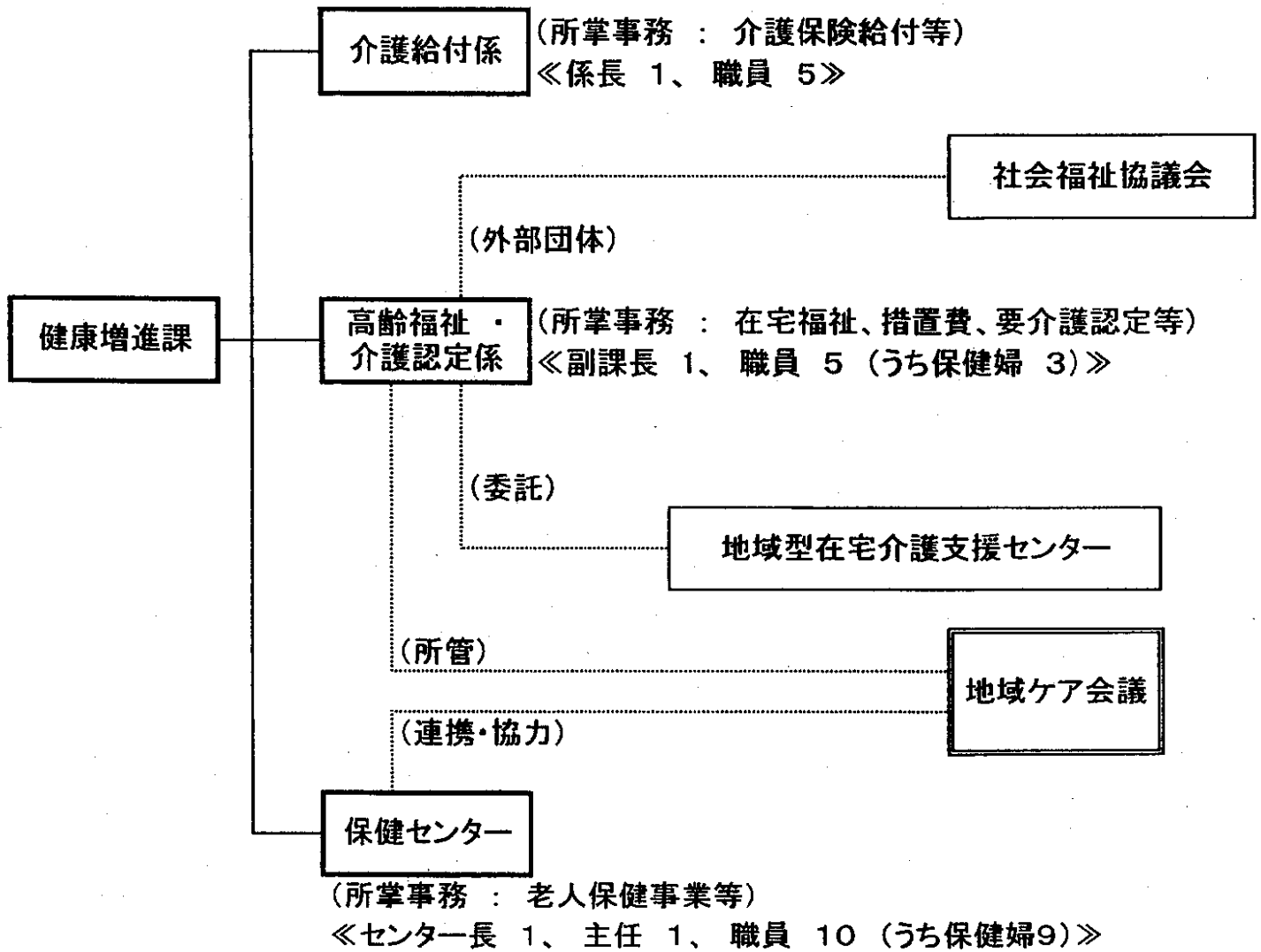
1. 市町村の概況

(平成13年12月31日現在)

市町村の沿革・概要	<p>伊万里市は、北部九州の西部に位置し、天然の良港を抱く人口6万人、面積254.99kmで佐賀県の総面積の10.5%を占めています。古くは、「古伊万里」の積出港として、また、石炭産業全盛期は石炭の積出港として栄え、近年では伊万里湾総合開発を軸に大規模な臨海工業団地を造成し、造船、IC関連産業、水産加工業等の集積により近代的な工業港として発展しています。伊万里市では、ゆとりある快適な都市環境、健やかで温かみのある地域社会、教育文化機能の充実などによって「活力と楽しさのある国際文化都市」の創造に努めています。</p>								
	人口	59,944人			高齢者数(高齢化率)	13,340人 (22.2%)			
世帯数	65歳未満の者のみの世帯			65歳以上の者のいる世帯					
	9,610			単独世帯	65歳以上夫婦のみの世帯			その他	
要介護認定(申請)者数	申請中	非該当	要支援	要介護1	2	3	4	5	合計
			328	726	329	223	221	244	2,071
社会資源状況	指定居宅サービス事業所(か所数)	訪問看護(0)		訪問介護(7)		通所介護(4)			
		通所リハ(7)		短期入所系(14)		その他(2)			
	指定居宅介護支援事業所(か所数)	15ヶ所							
	保健センター				保健センター		1ヶ所		
	在宅介護支援センター(か所数)				在宅介護支援センター		5ヶ所		
	※保健福祉センターなど、保健・福祉が一体となった施設があれば記入して下さい。								
	介護予防事業の拠点となりうる場(か所数)(公的施設以外も含む)	老人福祉センター・憩の家			5箇所				
	介護予防事業の担い手となりうる組織・団体(組織・団体数、人員数)	伊万里市民センター							

※ データについては、できるだけ直近のものをお願いします。

伊万里市の高齢者保健福祉行政の組織図



3 「介護予防事業」を企画する前の状況について

質 問 項 目	回 答 欄
<p>(1) 「介護予防事業」に関連(類似)する事業がありましたか？</p>	<p>(○) 関連(類似)する事業があった。</p>
<p>(2) 実施していた事業は、どのような根拠に基づき、どの部局が所管していた事業ですか？ また、事業内容についてもご記入ください。</p>	<p>1. 事業実施の根拠 平成6年度から8年度まで地域保健推進特別事業を活用、その後市独自の事業として継続</p> <p>2. 所管部局 健康増進課、保健センター</p> <p>3. 事業内容</p> <p>①事業名 痴呆予防推進事業</p> <p>②目的 本市の高齢化率(22%)が国、県平均を上回り、核家族化が進展する中、痴呆や生活習慣病で介護を要する状態を予防するとともに、早期発見を行うために実施する。</p> <p>③対象者 65歳以上の高齢者(老人クラブ加入者)</p> <p>④実施回数 (H11年度) 高齢者健康教室 21回 生きがいきづくり教室 178回</p> <p>⑤スタッフ 医師、歯科医師、薬剤師、保健婦、PT 保健推進員、ボランティア 介護支援センター、訪問看護ステーション</p>
<p>(問3) 上記事業の効果判定(評価)を行いましたか？</p>	<p>(○) 行った</p> <p>(具体的方法) 参加者にアンケート調査実施など(生きがい満足度調査) ↓ 痴呆予防活動の成果 (久留米大学教授 原岡一馬)</p> <p>※まとめ～生きがいきづくり参加者が非参加者よりも過去4年間の知的伸び率が有意に高かった。</p>

3 「介護予防事業」を企画する前の状況について

質 問 項 目	回 答 欄
<p>(4) 従来 of 事業を 「介護予防事業」と言う形で見直したり、また、新たな施策を企画することになった経緯について下記の様な点を含めて記入して下さい。</p> <p>・ 中心となった部局 村 はどこか？</p> <p>・ 何がきっかけとなり、どのような判断をしたのか？</p>	<p>1. 中心となった部局～健康増進課、保健センター</p> <p>2. 経 緯</p> <p>① 地域で痴呆の患者を介護されている家族の訪問、相談を受けて予防活動の必要性を感じた。</p> <p>② 平成12年度に作成した「いきいき健康づくりプラン」の中に痴呆予防事業を含めて介護予防事業を推進することを位置づけた。</p> <p>③ 協力体制ができていた。 医師会、委託機関、老人会 など (すでに痴呆予防システムづくりに取り組んできており、介護予防事業として取り組むことが容易であった。)</p>
<p>(問5)</p> <p>(1) で関連 (類似) 事業がなかったとこたえた市町村にお聞きします。</p> <p>今般「介護予防事業」に取り組もうとしたきっかけは何ですか？</p>	

4. 「介護予防事業」の企画立案体制について

質 問 項 目	回 答 欄
<p>問(1) 「介護予防事業」の企画立案体制について下記の様な点を含めて記入して下さい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どのような場を利用し、どのような機関・団体等と協議したのか？ ・学識経験者や現場の担い手などの意見をどのように取り入れたか？ ・高齢者やその家族、地域住民等の参加する機会があったか？ ・どの部局が中心となって企画し、他の部局との協力体制はどうであったか？ 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 痴呆予防システムづくり推進委員会を年に1回開催し具体的な事業について協議を行う。(別紙 資料) 2. 毎月1回 (第4金曜日19:00～) スタッフミーティングの開催により市民の意見やスタッフの意見を取り入れる。 3. 市民を対象に年に1回痴呆予防システムづくり報告会を開催(150名～200名参加) また、報告書の作成 4. 保健センターを中心に保健所、特別養護老人ホーム、在宅介護支援センター、訪問看護ステーションの協力を得ている。
<p>(問2) 「介護予防事業」を企画する際、下記のような検討事項があったと思います。 貴市町村での検討事項と検討内容、その結果について記入して下さい。</p> <p>(検討事項事例)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ニーズをどのように把握するのか？ <p>(ニーズ把握の方法)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業対象者の選定方法はどうか？ ・事業に従事する人材をどのように確保するのか？ ・既存の設備の利用が可能か？ ・新たな設備整備が必要か？ ・どの部局の事業予算をどのように確保するのか？ 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 検討事項 <ol style="list-style-type: none"> ①本市は地域が広域で全町実施のためには、マンパワー予算などの面から困難性がある。 モデル的に実施し、拡げていく。 ②対象者については、老人クラブ加入者が多い。閉じこもりの人をどのようにするのか？ 口こみや訪問、民生委員との連携を図る。 ③事業従事者、生きがいつくり教室指導者について、推進協議会の議題として提案し協力を得る。 ④介護予防事業を担当している高齢福祉介護認定係と保健衛生費の予算により実施

5 「介護予防事業」の実施について

質 問 項 目	回 答 欄
<p>(問1) 企画した「介護予防事業」の内容について記入して下さい。</p> <p>※事業の実施要綱、事業概要があれば添付して下さい。</p>	<p>1. 事業名 痴呆予防推進事業</p> <p>2. 目的 本市の高齢化率(22%)が国、県平均を上回り、核家族化が進展する中、痴呆や生活習慣病で介護を要する状態を予防するとともに、早期発見を行うために実施する。 さらには、生きがづくり事業と結びつけるなど、早期介入によって重症化を予防する。</p> <p>3. 対象者 65歳以上の高齢者(老人クラブ加入者)</p> <p>4. 事業内容(開始時期～平成12年4月～) 高齢者健康教室 かなひろいテスト (随時) 歯科検診、健康教育、相談 家庭訪問 MMSテスト (随時) 生きがづくり教室(週1回、2週に1回実施) 陶芸、カラオケ、リズム運動、気功、大正琴</p> <p>5. 実施体制 スタッフ 医師、歯科医師、薬剤師、保健婦、PT 保健推進員、ボランティア 介護支援センター、訪問看護ステーション</p> <p>6. 事業予算 平成12年度予算額 851,000円 (介護予防事業補助制度活用) 生きがづくりについては老人保健事業機能訓練B型を活用</p> <p>7. 事業主管課 健康増進課保健センター</p>
<p>(問2) 住民に対してどのように事業を周知しましたか?</p>	<p>報告会の開催を広報に掲載したり、老人クラブ会長会などでPRを行う。</p>

5 「介護予防事業」の実施について

質 問 項 目	回 答 欄																					
<p>(問3) 「介護予防事業」の実施状況(実績)について記入して下さい。</p> <p>※実施状況(実績)をまとめた資料があれば添付して下さい。</p>	<p>1. 事業名 痴呆予防推進事業</p> <p>2. 事業費 1,024,000円</p> <p>3. 事業名、年間実施回数、年間利用者数</p> <p>①高齢者健康教室 19回 延べ人数 836人</p> <p>②生きがいきづくり教室 (回数 209回)</p> <table border="1" data-bbox="756 734 1409 1317"> <thead> <tr> <th>教室名</th> <th>実人数</th> <th>延べ人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>リズム運動</td> <td>91</td> <td>1,890</td> </tr> <tr> <td>カラオケ</td> <td>24</td> <td>398</td> </tr> <tr> <td>大正琴</td> <td>11</td> <td>192</td> </tr> <tr> <td>陶芸</td> <td>23</td> <td>611</td> </tr> <tr> <td>気功</td> <td>28</td> <td>66</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>177</td> <td>3,157</td> </tr> </tbody> </table>	教室名	実人数	延べ人数	リズム運動	91	1,890	カラオケ	24	398	大正琴	11	192	陶芸	23	611	気功	28	66	計	177	3,157
教室名	実人数	延べ人数																				
リズム運動	91	1,890																				
カラオケ	24	398																				
大正琴	11	192																				
陶芸	23	611																				
気功	28	66																				
計	177	3,157																				
<p>(問4)</p> <p>現在実施している「介護予防事業」の実施状況を見て、うまくいっていると感じられるのはどのような点ですか？</p>	<p>① 痴呆予防システムづくり推進協議会を中心に関係機関との連携がスムーズである。(一部委託など)</p> <p>② 機能訓練B型が13年度から介護予防事業へ移行したので高齢者教室1回かぎりの事業ではなくなり、生きがいきづくり教室へと継続でき、住民との信頼関係やなじみの関係がうまく取れるようになった。</p> <p>③生きがいきづくり教室の指導者の支援が受けられる。</p>																					

5 「介護予防事業」の実施について

質 問 項 目	回 答 欄
<p>(問5) うまく事業をすすめるために工夫している点などがあれば記入して下さい。</p>	<p>① 痴呆予防事業と言う名称を使用すると痴呆の人のみ参加するのではないかと敬遠されがちですので、「高齢者健康教室」にして生活習慣病予防の試食やレクリエーションなどを多く取り入れるようにしている。</p> <p>② 問題が発生した時はスタッフミーティングや協議会などに図るようにしている。</p> <p>③ 高齢者健康教室後訪問が必要なケースには、健康診断結果などを一緒にもって訪問してフォローしている。</p>
<p>(問6) 今後、課題と感じている点があれば、それについても記入して下さい。</p>	<p>① 老人クラブ参加者を対象にしているので、未加入者、閉じこもりの人達への働きかけの方法を検討することが必要である。</p> <p>② 現在、12町の中で5町をモデル的に実施しているので、徐々に拡大していくことが求められる。</p> <p>③ 生きがいづくり教室の指導者（ボランティア的存在）の確保</p>
<p>(問7) 現時点で課題と感じている点に対し、考えられている対応策等あれば記入して下さい。</p>	<p>① 民生委員、福祉活動員等の協力得て、閉じこもりの人などの対象者の把握と訪問などを行い、対象者の拡大を図っていきたい。</p> <p>② いきいき健康プランを作成したので、そのプランに沿って、市民、協議会の意見を取り入れながら、地域の拡大を行いたい。</p> <p>③ 指導者の確保については、庁内の生涯学習課、体育保健課の協力などについて今後検討する。</p>

6 「介護予防事業」の評価 について

※行政が主体となって実施する（直轄・委託）保健・福祉事業に対する評価について伺います。

質 問 項 目	回 答 欄
<p>(問1) 「事業ごとの評価」について伺います。</p> <p>①各事業メニューごとに評価を行っていますか？</p>	<p>(○) 行っている。 (介護予防事業の中で痴呆予防事業のみ実施)</p>
<p>②具体的な評価方法について記入して下さい。 (評価指標、評価時期、評価者等)</p> <p>資料～別冊</p>	<p>①評価指標については特別に設けていない。</p> <p>②評価時期 毎年報告書作成</p> <p>③評価者等 久留米大学教授他痴呆予防システムづくりに関わっているスタッフ</p> <p>④医療費分析</p>
<p>(問2) 「介護予防事業全体の評価」について伺います。</p> <p>①介護予防事業全体としての費用対効果をどのように評価していますか？ また、今後どのように評価したいと考えますか？</p>	<p>①効果判定は非常にむずかしいと思います。 しかし、早期発見に努め、重症化を防ぎ医療費との関連性を経年的に見ていきたいと思います。</p> <p>②個人、個人については、国から示されたアセスメント票を活用し継続的に評価できればと考える。</p>
<p>②各種の介護予防事業関連施策における定量的あるいは定性的な評価指標などがあれば記入して下さい。</p>	<p>①定量的評価としては、健康教室への参加者などが増加するように考えている。</p> <p>②今後本市でも評価方法について協議会などへ図っていきたいと考えます。</p>

3 生きがいがづくり教室開催状況

1) 経過

	陶芸	リズム運動	カラオケ	大正琴	囲碁	碁盤教室	気功	参加人員	延べ人員
H 4	市民センター	黒川公民館						20	135
5	↓	↓						28	711
6	↓	↓						35	872
7	敬愛園	↓		黒川公民館	黒川公民館	黒川公民館		83	
8	↓	↓		↓	↓	↓		96	
9	↓	旧立目分校	山代・東山代公民館	↓	↓	東山代滝野地区		212	3,387
10	↓	↓	↓	↓	↓	↓		208	3,076
11	↓	↓	↓	↓	↓	↓	市民センター	126	2,646
12	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	130	2,759

- 平成4年度 平成5年1月より陶芸・リズム運動教室開始
- 平成7年度 黒川町の生きがいがづくり教室内容（カラオケ・大正琴・囲碁・陶芸）の充実
- 平成9年度 リズム運動教室が旧立目分校・山代公民館・東山代公民館へ広がる
東山代町滝野地区で高齢者モデル健康教室としてお達者教室を開催
9年度 7回 参加者：実61人 延べ286人
10年度 7回 参加者：実61人 延べ298人 計584人
- 平成11年度 いきいき市町村を育む保健事業推進事業（国保保健事業）に取り組む
平成12年1月より気功の集い（矢山式気功）を開始
（2年間の補助事業）
- 平成12年度 旧立目分校のリズム運動教室は自主的にカラオケが始まり中止
囲碁教室も参加者が少なく中止となる

*リズム運動教室では健康相談（血圧測定）を月1回程度実施

*市民センターでの陶芸教室には、高齢者以外に、紹介をされて若年の方や福祉作業所（知的障害者）からも参加されている。

2) 周知方法

高齢者健康教室・老人クラブにてPR、黒川・山代公民館報、市役所だより掲載

3) 考察

気功を取り入れたことにより、男性の参加者を増やすことができた。

黒川地区では、農業の後継者がいないため、高齢となっても現役で農業に従事されている人も多く、男性の参加が少ない原因の一つと考えられる。

4 痴呆予防システムづくり事業報告会開催状況

	第1回 平成5年4月27日(火)	第2回 平成6年4月23日(土)
場所	伊万里市民センター文化ギャラリー	伊万里市民センター 大ホール
内容	1. ボケを予防するシステムづくり 平成4年度実態調査報告 ①伊万里敬愛会 ②久留米大学医学部脳疾患研究所 2. 特別講演「地域における高齢者福祉の推進について」 厚生省年金局年金課長 中村秀一氏	1. ボケないための健康づくり 2. 心の健康のために ひとり芝居「信長」 中島淳一氏
	第3回 平成7年3月29日(金)	第4回 平成9年3月21日(金)
場所	伊万里市民センター文化ギャラリー	伊万里市民センター文化ギャラリー
内容	報告 1. 在宅老人の孤独感に関する調査 2. 老人の知的低下と生き方の関係 3. 訪問看護における事例報告 4. 山代地区におけるボケ予防教室実施状況 5. 陶芸を通しての生きがいづくり及びボケ予防	報告 1. 訪問看護の実際と今後の課題 2. 在宅老人の孤独感に関する調査Ⅱ 3. 老人の知的低下と生き方の関係Ⅲ 4. 老人の口腔衛生検査によって考えられること 5. リズム運動教室を実施して
	第5回 平成10年3月27日(金)	第6回 平成11年3月26日(金)
場所	伊万里市民センター文化ギャラリー	伊万里市民センター文化ギャラリー
内容	1. 報告～痴呆予防事業の新しい取り組みから ・リズム運動教室(岫・剋岫) ・保健所の取り組み ・市役所の取り組み ・お達者教室 ・グループホーム「椎の木の家」 2. 講演「痴呆を予防する生きがいづくり」	1. 痴呆予防システムづくり報告 2. 生きがいづくり教室参加者の立場から ・リズム運動教室 ・陶芸教室に参加して 3. 講演「生きがいづくり教室参加と効果」 4. 寸劇「手を取りあって」 5. 講演「老化と痴呆」 6. 痴呆性老人をかかえる家族の会
	第7回 平成12年4月7日(土)	第8回 平成13年3月31日(土)
場所	黒川公民館講堂	山代公民館講堂
内容	1. 痴呆予防システムづくり事業10年のあゆみ 2. 生きがいづくり教室発表(かたむね) 3. 講演「高齢者が生き生きとすごすには」～痴呆予防活動の成果～ 4. 発表「生き生き！健やか未来21をめざして」～黒川町における活動～ ・健康長寿のまちづくり研究会 ・すこやか心ら役活動 ・地域におけるボランティア ・生きがいづくり教室(リズム)	1. リズム運動発表 2. 健康劇「支えあって一緒に山代良かところ」 3. もっと元気なまちになるための取り組みについて ・山代町の健康・福祉・医療に関わって ・黒川町の痴呆予防活動から 4. 歌って！笑って！身体も心も元气的野勝氏